

南総支部・活動方針（案）

南総支部長 渡邊正重

《活動目標》

1. 支部で、学習・研修会の場の企画づくりを

聴覚障害者の暮らしや社会参加を守り、向上させるためにも支部の各地域協会との連携強化を図り、支部役員と各地域協会に呼びかけて、「モデル要綱」など手話通訳制度の学習会を設けるものとする。

2. モデル要綱について地域協会と共に取り組んでいこう

意志疎通支援事業の派遣「モデル要綱」に沿った手話通訳制度を各市町村行政において浸透し、各市域の格差をなくすよう、地域協会と学習会を開き、行政との交渉を進めるよう働きかけていきたい。

3. さらに入会拡大をめざそう

平成24年度の最高の会員数（104名）と比べると、南総支部（73名）では、70%となっている。

しかし、100%以上を保っている協会が支部内3つの協会があることは褒めたい。

また、全日本ろうあ連盟の課されているノルマは身体障害者手帳所有の10%を基準としているので（支部で250人）、各市協会イベントに参加し説明する活動により、これまでの会員を維持しながら、更なる会員拡大を図りたい。

4. 誰でも参加でき、ろう運動の意識を高める企画を

老若男女で参加できる親睦旅行（日帰り）や講演会&忘年会を実施し、千葉県支部地域班・各手話サークルと親睦を深めるとともに連携強化を図り、ろう運動の大切さへの理解を広めていきたい。

5. ろう重複障害者施設建設のための支援活動

社会福祉法人「千葉県聴覚障害者協会」は、平成26年度に共同生活援助施設「らいおんホームそが」を開所し、また地域活動支援センター「らいおん千葉」、「らいおん香取」、B型「らいおん工房」

の村づくりの構想を進めております。将来的に南総地域にも作業所を開所する構想があるため、千葉県ろう重複障害者施設をつくる会と連携しながら、南総地域の潜在的ニーズの掘り起しを図り、また街頭カンパ、フリーマーケットへの参加、チャリティイベントの開催を通し、啓蒙活動に力を入れたい。

6. 第38回関東ろう者大会の運営に協力し、成功させよう

2015年10月3日(土)から4日(日)にかけて開催される第38回関東ろう者大会は当支部内の館山市で開催されることが決定されていることから、支部内の各市協会及び、千葉県支部地域班・手話サークルで連帯しながら、感動を与える大会にするよう取り組む。

《事業計画》

平成27年	4月19日	定期評議員会&義務研修会
平成27年	5月	役員会
平成27年	7月	役員会
平成27年	9月	役員会
平成27年	10月3日・4日	関東ろう者大会
平成27年	10月	第12回千葉県聴覚障害者団体対抗 ソフトボール大会
平成27年	12月	役員会
平成27年	12月5日	講演会(任意)&忘年会
平成28年	2月	役員会
平成28年	3月13日	親睦旅行(日帰り)